

[こども学科]

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」「健康とスポーツ」の各群からそれぞれ1科目以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から1科目以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※ 同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

※ 時間割上可能で教務上の支障もない場合、他学科開講の教養科目を履修することができる。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ（入門編）」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「こども学科履修科目表」の必修科目は全員が履修しなければならない（47単位）。

選択科目については6単位以上を履修する。幼稚園教諭免許または保育士資格を取得する場合は、更にそれぞれの必要な授業科目を履修すること。

3 教育実習の受講資格

教育実習を受講するためには、次の科目を履修済であること。

教育課程・保育計画論、保育内容総論、保育内容指導法（健康）、保育内容指導法（人間関係）、保育内容指導法（環境）、保育内容指導法（言葉）、保育内容指導法（表現）、教育の方法と技術、幼児理解、教育相談
--

4 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計66単位以上修得する。

5 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。（社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。なお、同専攻の授業は、一定の人数を超えてはならないため、他学科の学生の履修が認められないこともある。）

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

6 社会福祉主事任用資格取得方法

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることにより、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「こども学科履修科目表」の社会福祉主事任用資格欄を参照すること。

7 幼稚園教諭二種免許状の取得方法

幼稚園教諭二種免許状の取得には、本学科に2年以上在学して「こども学科履修科目表」の幼稚園教諭免許欄に従い履修し、卒業しなければならない。

8 保育士資格等の取得方法

保育士資格の取得には、本学科に2年以上在籍して「こども学科履修科目表」の保育士資格欄に従い履修し、卒業しなければならない。

別表 「こども学科履修科目表」の選択科目のうち、
幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得に必要な科目表

① 幼稚園教諭二種免許状取得に必要な授業科目

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
英語	2	子どもの表現A	1
情報処理演習	1	子どもの表現B	1
情報の活用	1	特別な教育的ニーズの理解と支援	2
健康科学論	1	教育の方法と技術	2
体育実技	1	幼児理解	2
教育原理	2	生活	2
幼児教育者論	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（言葉）	1
教育社会学	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（音楽）	1
教育心理学	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（造形）	1
教育課程・保育計画論	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（身体）	1
保育内容総論	1	保育の心理学	2
保育内容指導法（健康）	2	教育相談	2
保育内容指導法（人間関係）	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（音楽）	1
保育内容指導法（環境）	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（造形）	1
保育内容指導法（言葉）	2	教育実習	4
保育内容指導法（表現）	4	教育実習指導	1
子どもの健康	1	保育・教職実践演習	2
子どもの環境	1	日本国憲法	2

② 保育士資格取得に必要な授業科目

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
健康科学論	1	子育て支援	1
体育実技	1	社会福祉原論Ⅰ	2
教育原理	2	子ども家庭福祉	2
幼児教育者論	2	社会的養護Ⅰ	2
保育原理	2	社会的養護Ⅱ	1
教育課程・保育計画論	2	保育実習Ⅰ	4
保育内容総論	1	保育実習指導Ⅰ	2
保育内容指導法（健康）	2	保育・教職実践演習	2
保育内容指導法（人間関係）	2	教育心理学	2
保育内容指導法（環境）	2	子どもの健康	1
保育内容指導法（言葉）	2	子どもの環境	1
保育内容指導法（表現）	4	子どもの表現A	1
特別な教育的ニーズの理解と支援	2	子どもの表現B	1
乳児保育Ⅰ	2	教育の方法と技術	2
乳児保育Ⅱ	1	幼児理解	2
保育内容の理解と方法Ⅰ（言葉）	1	介護福祉論	2
保育内容の理解と方法Ⅰ（音楽）	1	臨床心理学	2
保育内容の理解と方法Ⅰ（造形）	1	障がいとコミュニケーション技法	1
保育内容の理解と方法Ⅰ（身体）	1	保育内容の理解と方法Ⅱ（言葉）	1
保育の心理学	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（音楽）	1
子ども家庭支援の心理学	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（造形）	1
子どもの理解と援助	1	保育内容の理解と方法Ⅱ（身体）	1
子どもの保健	2	保育実習Ⅱ	2
子どもの健康と安全	1	保育実習指導Ⅱ	1
子どもの食と栄養	2	保育実習Ⅲ	2
子ども家庭支援論	2	保育実習指導Ⅲ	1

6 単
位
以
上
履
修

Ⅱ、Ⅲ
のい
ず
れか
を
履
修